

## 耐震構造型天井システム タンゴ天井

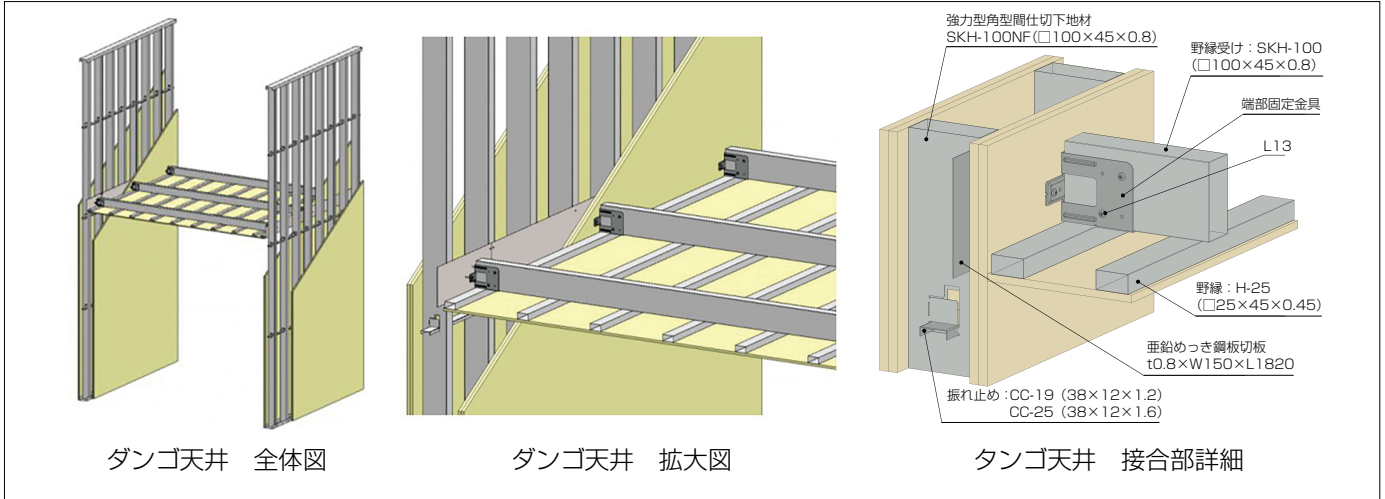
## 株式会社佐藤型鋼製作所

〒733-0802 広島市西区三滝本町2-24-24

TEL 082-237-1962 FAX 082-237-4703

URL <https://www.satock.co.jp/> mail [sato.m@satock.co.jp](mailto:sato.m@satock.co.jp)

【拠点】 東京営業所（東京都中央区京橋3-3-14 京橋AKビル6F TEL.03-6281-9170）、  
千葉流通センター（千葉県市原市姉崎海岸38 TEL.0436-60-7661）、  
吉田工場（広島県安芸高田市吉田町川本180-1 TEL.0826-43-1346）、  
広島流通センター（広島県安芸高田市吉田町山手713-1）



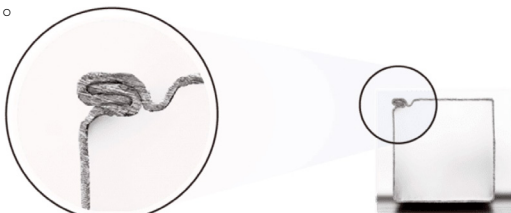
### 吊ボルト不要の耐震構造型天井システム

配管やダクトが入り組んでいる狭い空間では吊りボルトによる天井下地の施工がしにくい難点があった。本製品は亜鉛めっき鋼板+壁ボードに取り付けた端部固定金具に自社特許製品の「コーナーかしめ角形鋼管」を掛け渡して固定することで、吊り下げずに耐震天井の構築を実現した。

震災時には避難通路となる病院や公的施設、商業施設の廊下や通路、ブレースが取り付けにくい面積が小さな部屋の天井への施工を想定して開発。既設のJIS間仕切下地材または強力型角型間仕切下地材の間仕切り壁の上張ボードに、端部固定金具取り付け用の亜鉛めっき鋼板切板をビスと接着剤を用いて取り付けただけでも強度上変わらないことが水平・鉛直加力試験で確認できている。新築工事と同様に改修工事にも使用可能である。今後の様々な建物の耐震化改修工事への活用が期待できる。

### 特許製品「コーナーかしめ角形鋼管」で耐震化

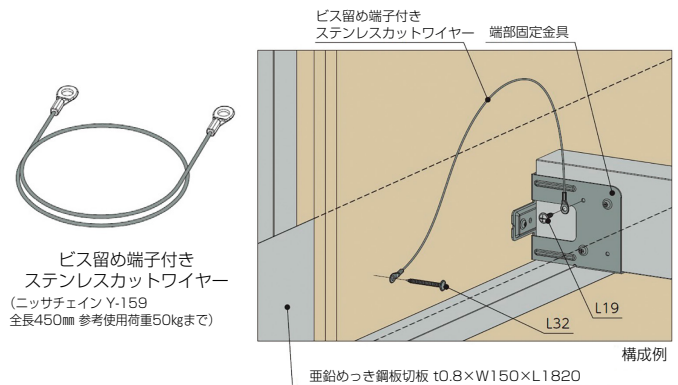
溶融亜鉛めっき鋼板を角型にロール成形し、コーナーでかして強度を増した特許製品の「コーナーかしめ角形鋼管」（特許7278042号）の間仕切下地材やJIS間仕切下地材を使用する。コーナーかしめ角形鋼管はコーナーでかしていることにより、上下・左右から強い圧力がかかってもかき外れず、ハンマーでたたいても外れない構造となっている。また、センターでかしたものよりねじれにくい構造となっている。従来型スタッドに比べ大幅な強度向上を実現。このため、天井板に用いる一般的な石膏ボードでは最大幅4mを超えての施工が可能。他社の工法は3m程度が一般的であるのに対し、最大幅内なら1スパンで施工ができるため施工性に優れる。



コーナーかしめ角形鋼管 断面図

### ステンレスカットワイヤーで追加の安全対策が可能

タンゴ天井は間仕切り壁とタンゴ天井の剛性を計算で確認しており、端部固定金具脱落による天井落下のリスクは低いが、ビス留め端子付きステンレスカットワイヤーを用いることでさらなる安全対策が可能。



ステンレスカットワイヤーによる安全対策例

### 構成部材表

		直天井の場合	在来天井の場合
		製品名	製品名
間仕切り壁 (一例)	スタッド	SKH-100NF (□100×45×0.8) または WS-100 (JIS規格品t=0.8)	SKH-100NF (□100×45×0.8)
	ランナ	WR-100	WR-100
	振れ止め チャンネル	CC-19 (同社角スタッドの場合) または WB-25 (JISコ型スタッドの場合)	CC-19
	野縁受け	SKH-100 (□100×45×0.8)	SKH-100 (□100×45×0.8)
	野縁	H-25 (□25×45×0.45)	
	接続用金具	端部固定金具 亜鉛めっき鋼板切板 (t=0.8以上) Tジョイント (開口補強用) 25ジョイント (野縁用)	端部固定金具 亜鉛めっき鋼板切板 (t=0.8以上) 吊金具 I 型・II 型